

第18回 JOTO CUP

第38回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第15回大阪タイムトライアル in 舞洲 テクニカルガイド

1. スケジュール

内容	開始-終了予定時刻	場所
9月2日(土)		
開門	9:00	
タイムトライアル一般選手受付	10:00-11:00	大会本部
試走	11:00-11:15	コース
競技開始	11:30-11:45	コース
タイムトライアル表彰式	競技終了次第	大会本部
クリテリウム高校生受付	12:30-14:00	大会本部
試走	14:20-14:40	コース
高校生男子	0.85×15周=12.75km	14:50-15:10
高校生女子	0.85×10周=8.5km	-15:05
JCF登録高校生男子	0.85×30周=25.5km	15:15-15:55
9月3日(日)		
開門	7:30	
クリテリウム一般選手受付	7:40-10:00	大会本部
試走	7:40-7:55	コース
ビギナー(C4)	0.85×10周=8.5km	8:05-8:20
40オーバーマスターズ	0.85×15周=12.75km	8:25-8:47
中学生・レディース	0.85×10周=8.5km	8:55-9:12
ビギナープラス(C3)	0.85×15周=12.75km	9:20-9:41
スポーツ(C2)	0.85×20周=17.0km	9:50-10:17
小学生の部 高学年	0.85×8周=6.80km	10:20-10:34
小学生の部 低学年	0.85×5周=4.25km	10:40-10:51
エキスパート(C1)	0.85×25周=21.25km	10:55-11:29
ミルクキー(当日受付)		11:35-11:50
JCF登録女子 (JBCF Fクラスと同時出走)	0.85×22周=18.7km	12:10-12:41

※クリテリウムの表彰は、各カテゴリーの競技終了後、大会本部にて行う。入賞者は速やかに出席すること。

2. 競技内容

<タイムトライアル>

- ① 2km/周のコースを使用する。
- ② **各自スタート 15 分前**までにスタート地点で検車を受けること。(検車後はスタートエリアに留まること)
- ③ 1名ずつのタイムトライアル形式とする。TT バイク、ディスク/バトンホイール、TT ヘルメットの使用を認める。
- ④ スタート時間に遅れた場合はコースの特性上安全を確保する為、最後尾よりスタートとする。
この場合、スタート予定時間から遅れた時間を実走行時間に加えリザルトとする。

<クリテリウム>

- ① 0.85km/周のコースを使用する。
- ② **各カテゴリーのスタート 10 分前**までに検車にて、出走サインを完了し、所定の位置で待機すること。
- ③ モトの先導によるローリング・スタートとする。
- ④ アクチュアル（正式）スタートは、隊列が整ったと判断したタイミングで行う。

3. 競技規則

(公財) 日本自転車競技連盟（以下 JCF と記す）の競技規則集の最新版、大会特別規則により運営する。

<タイムトライアル>

- ① 選手はホルダー（選手を支える役員）により支えられ、タイムキーパーの指示によりスタートする。

<クリテリウム>

- ① JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1)の周回遅れはラップアウトとする。ただし、該当競走の成立に著しい支障を来す場合においては、この限りでない。(数名の周回アップはアドバンテージを認める。) それ以外のカテゴリーは、周回遅れでもラップアウトにしないが、先頭選手がゴールした時点で周回遅れの選手もゴールとする。
- ② JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1)、JCF 登録女子において、認められる事故（落車、パンク、自転車の重要部分の破損）に限り、**コミセールの認定により**、ニュートラリゼーション 2 周回を与える。
- ③ ニュートラリゼーションについて
 - ✓ **コミセールに片手を上げる等によりニュートラリゼーションを受ける意思を伝えること。**
 - ✓ 走路への復帰にあたっては、コミセールの指示で事故前に位置していた集団後方に復帰すること。
 - ✓ ニュートラリゼーションを与えられた競技者は最後の 3 周回以降、復帰することはできない。
 - ✓ ニュートラリゼーション中に最後の 3 周回が始まり競技者が復帰できなかった場合、または最後の 3 周回以降に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。
 - ✓ 機材の交換は、明示するピットにおいて、各チームでコミセールの確認の下で行なうこと。
(上記②の 3 つのカテゴリー以外のカテゴリーについては、任意の位置で機材交換できる。)
- ④ ギア比制限について
 - ✓ ギア比制限については、JCF 競技規則(2022/12/26 付)「2023 年 1 月 1 日発効 UCI 規則の説明と、国内での規則運用について」の「5.ロード競技におけるジュニア競技者のギアレシオ制限（JCF 競技規則第 77 条）」に基づき運営する。そのため、U17、U15、U13 競技者のギア比制限は継続する。

- ✓ 機材調達が出来ない場合は、対象外ギアを使用しない誓約をすることで参加を認める。対象者はエントリー時点でこれに誓約したものとみなす。
 - ✓ JCF 登録カテゴリー[エキスパート(C1)] 以外は JCF 競技規則（付表 2-4:ギア比制限・ロード種目参照）を適用しない。
 - ✓ 検車時にギア比の確認は行わない。但し、コミッセールの判断によりギア比のチェックを行うことがある。
 - ✓ JCF 登録高校性男子、高校生男子、高校生女子の参加者は全員ジュニア競技者として扱う。
- ⑤ ヘルメットについて
- ✓ JCF 公認のものを使用すること。（小学生はそれに※準じること）
（※EN 規格、CPSC 規格、ANSI 規格、Snell 規格、SG 規格のヘルメットの着用を認める）
 - ✓ JCF 公認ヘルメットの確認は公認シールの貼付をもって確認する。
 - ✓ 外観に傷、ひび、はく離等がないこと、衝撃吸収ライナーに割れ、ひび等がないこと。

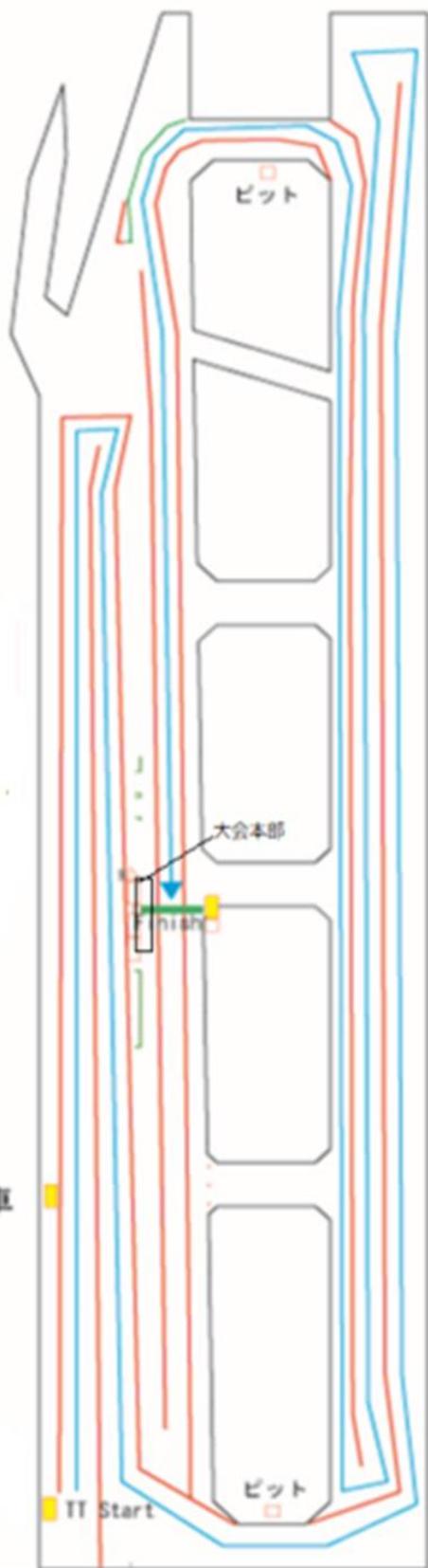
4. 選手として守るべきこと

- ① 最新の JCF 競技規則に則った自転車を使用すること。
自転車の整備は各自で責任を持って行なうこと。
- ② 参加者は必要に応じて各自でスポーツ安全保険に加入しておくこと。
- ③ 大会中の疾病傷害については、応急処置は行うが、その後は参加者の自己負担、自己責任とする。
※ 必ず健康保険証をご持参下さい。また大会に掛けられている傷害保険（死亡/後遺症 200 万円、入院 3,000 円/1 日、通院 2,000 円/1 日）は、競技中の疾病であっても、事故当日に届け出がない場合、保険が適用されない事があります。軽傷でも、病院に行く可能性がある場合は、救護所にご一報ください。
- ④ 各カテゴリーにおいて、競技中に第三者から飲食物の補給を受けることは認めない。
- ⑤ 蛇行は反則であり、他の選手に危険を及ぼす走行を行った場合には、ペナルティを科す場合がある。
- ⑥ 競技コース全周にかけて競技者と観戦者との接触を避けるため、緩衝帯に立ち入らないこと。
- ⑦ 試走時間を含め、各カテゴリーにおいて、自転車・ヘルメットへのカメラ/携帯電話の装着・搭載は認めない。（選手自身による競技走行中の撮影を認めない。）
- ⑧ 競技場内外の走行については、交通ルール・マナーを遵守し、他の車両の迷惑にならないようにすること。
※ 場外の走行は、移動目的だけとし、アップ目的での走行は一切禁止する。
※ アップゾーンはバックストレート側に設置する。
- ⑨ コースの横断については、設定される横断箇所でのみ行うこと。
- ⑩ クリテリウムについては、コース内側の未舗装エリアでの観戦を認める。
※⑨、⑩の詳細は、後日提示されるコースマップを参照のこと。

5. 救急搬送先 依頼病院

大野記念病院	大阪市西区南堀江 1-26-10	06-6531-1815
大阪暁明館病院	大阪市此花区西九条 5-4-8	06-6462-0261

路面状態や設営方法によって、コース取りは変更の可能性があります。



赤・黄実線は、パイロン (約10mピッチ)
水色実線は、選手走行線

9/2(土)タイムトライアルのコース

9/3(日) クリテリウムのコース

- 赤・黄実線は、パイロン (約 10m ピッチ)
- 水色実線は、選手走行線

路面状態や設営方法によって、コース取りは変更の可能性があります。

フィニッシュ後ここから退出

検車 / サインシート

ライセンスコントロール

出店エリア

救護

S/F

ピット

ピット